

ハイウインズカップ

風の感触を感じながらスピード、テクニック競う

ステンレスパイプ製の車体に風を受ける帆を取り付けた三輪のプロカートで、スピードやテクニックを競う「ハイウインズカップレース」(日本プロカートハイウインズ主催)が、神栖市の波崎漁港で行われた。レースには県内外から約20人が参加し、体重別にライト級、ミドル級、ヘヴィ級に分かれて優勝を競った他、初心者の体験レースも行われた。

「風の感触を感じられていいですね。エンジン音がないのもいい。風のあるこの地域ならではのスポーツですね」と話す東京・足立区の石墨幸夫さん(63)は、今年1月からプロカートを始めたばかりだが、ライト級3位入賞を果たした。

日立でもプロカートを広めようと体験に訪れた河村秀樹さん(34)は「見た目



風を感じながら走るプロカート

は難しそうですが、やってみるとそうでもないです。危険も少なく、子供から大人まで楽しめるのでは」と、初体験ながらもスピードを楽しんでいた。

【結果】▽ライト級①青野竜也②加瀬尊啓③石墨幸夫▽ミドル級①村田文昭②ジミーバンノート③遠藤道章▽ヘヴィ級①篠塚明宏